

## 1 学 期 始 業 式 講 話

平成27年4月8日

- 不破高校での2年目の春を迎えられることを喜びたい
- ✓ 今日こうして皆さんと新年度を迎えられることを喜びたい
- ✓ 高校生活の中で、これからの人生でも、年度の変わりは時の流れの中の大きな節目
- ✓ 今年は107人の新入生を迎える。彼らには、午後の入学式で、高校入学は人生初の大きな節目、この節目を機に、チャンスととらえ、今までにやったことがないことに挑戦し、さらに成長してほしいと伝えるつもり
  
- バレーボールの名選手 大林素子さんがこんな記事を書いていた
- ✓ 新年度が始まるこの時期に、心機一転、さあ頑張ろうと思っている人に一言！
- ✓ 現役時代に学んだこと、それは「やる」と決めたら、今この瞬間に始めること
- ✓ 今日は休んで明日から頑張ろうとか、今日は食べてから明日からダイエットしようのような夢や目標を叶えるための「努力の先送り」は、夢から遠ざかっていく危険なルール
- ✓ ロクに練習に出ず、試合に出て、自分の不甲斐なさを実感し、悔しく、情けない思いをしたのち、「努力の先送り」から「楽の先送り」に己を変えた
  
- まずはやってみること
- ✓ 一番いいことは、一生懸命やって成果が上がること。勝負の世界なら、勝つこと
- ✓ しかし、次にいいことは一生懸命やって失敗すること。だめなのは、何もしないこと
  
- 不破高校も平成27年度を迎え、変わった
- ✓ 今日の9時開始はどうだった？
- ✓ 進路指導室と生徒指導室の常駐をなくし、職員室に22人の先生が常駐することになった。職員室からは今まで以上にいつもいろいろな声が聞こえてくるようになった
- ✓ 笑い声も増えた。とても楽しそう。皆さんも新しくなった職員室にぜひ！
- ✓ 不破高校はこれからも、みなさん生徒のためにどんどん変えていく。何か、提案があれば是非教えてほしい
  
- 最後に先日の卒業式で卒業生が答辞で語った言葉を再度、みなさんに
- ✓ 担任の先生が生徒会役員に立候補しないかと声をかけてくれた
- ✓ 最初は「自分に務まるわけがない」と思った
- ✓ 失敗を味わいつらい時期もあった。でも、たくさんの優しさや応援のおかげであきらめずに取り組み、自分が強くなった、成長したと感じている
  
- みなさんもこの先輩に続け
- ✓ この先輩は生徒会だったが、部活動、ボランティア活動、勉強・・・なんでもよい
- ✓ 自分が変わった！成長できた！と実感できる日をぜひ、これからの1年間うちに
- ✓ その姿を私たち教職員とお家の方は心待ちにしている
- ✓ そして、その時、よかったね！と笑顔を言いたい
- ✓ 不破高校は西濃地区で一番小さな高校、でも笑顔は西濃で一番多い学校になることを願っている